

平成 22 年 1 月 1 日発行
第 146 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel: (0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax: (0548)32-1280

「2010 年の 現実と目標 - 「脱病院化の先進地区」として前向きに捉える気概を -」

“質”を考え、毅然とした言動、後退せぬ責任 その

まずは、榛南地区の医師団が志高く「脱病院化の先進地区」として前向きに捉える気概を持つべきである。形が見えてくるまで、我々の成すべき業は最低でも 3 年 5 年、期間は掛かるのであろう。しかしこれが整えられたら、つぎのステップが見えてくる。地域住民 患者さんの心構えが定まれば、真っ向から一つひとつの事を成していけば「医師冥利に尽きる地域社会」が自然と芽生えてくると考える。

以下は、田村典彦吉田町長の一昨年末の職員に対する挨拶(静岡新聞 2008.12.27. p15 掲載)内容である。「明と暗のコントラストがはっきりした 1 年だった」「変化のスピードが速いので、常にあらゆることを想定して対応してほしい」「場合によっては直接トップに数字や事象について伝え、自分なりの解決策も一緒に示してほしい」「税収の落ち込みなどで来年はいろいろな意味でピンチ」「ピンチだからこそ事業の取捨選択や規模の見直しをするチャンス。スキルアップを図り、来年も十二分に力を出してほしい」以上、話されたという。

平成 21 年 5 月 1 日発行 康寿診報 第 140 号 P1・平成 21 年 6 月 1 日発行 康寿診報 第 141 号 P1 より抜粋

これだけの挨拶をされる吉田町トップであるのだから自らの実践を求め、「Manifesto 選挙公約」「裁量権の範中」「議会を通した」だからでは通らない。訂正すべきこと、まずは救急医療の確保を含め医療・福祉の現場に耳を向け状況把握から行うべし、今年こそは何が「事業の取捨選択」「規模の見直し」だ!? と言われなくて済む町の姿勢を望む。

政治が混沌とした中で、既に「急性期の命を救える病院の無い地区」という現実 その現場で右往左往もがく地域住民・我々医師団の姿がある。この悲劇を受け入れ、“無力”“無念”を思い知った上で、冷静に見届け、後退しない。気概と危機感を同時に持ち続けながら、榛南地区 吉田町で開業する医師として、一年を過ごしたい。 2010 年(平成 22 年)元旦 加藤寿夫

今年 2010 年、以下の 3 項目を心掛け、行動する。

「外来診療は楽しく」を Motto(モットー)として

職員・患者さんと接するとき、常に「わっハッハッハ」で対応しよう。遊びの世界・笑いの世界で、現実の厳しさを踏まえた、「正しいか 間違っているか」の真実を正確に伝える医療の施行を目指す。

「『糖尿病治療の ABC を求めて』- 本院の糖尿病治療の実際・メタボ健診を成熟させる為には -」の確立

現在の本院での糖尿病診療現場、医療人と患者さんの、正しい関わり合い、これらの状況を正確に伝える手段を獲得し、その術を高め実施し、形として示す。

「脱病院化の先進地区」として、現実を冷静に見届け、後退せず、前向きに、地域住民・行政と接していく医療破壊の起こってしまったこの榛南地区で、私自

身がみた過去数年間の、正すべきこと・訂正すべきこと。

これを、榛原医師会の吉田町担当者として、過去の熟考の上での自分の言動について顧みながら、行政・住民に対し、太陽と風 2 lines で、訴えてみる。現在の状況を把握した上で、行政・地域住民・我々医師団が持つべき姿勢を具体的に示し行動する。まずは、榛南地区の住民が、脳・心臓・消化器の救急をはじめ急性期の数分・数時間の遅れで命を落とす状況の可能な限りの回避。「急性期の命を救える病院の無い地区」として、榛南地区の吉田町・牧之原市の行政から周辺市町にお願いして、本来の救急医療にアクセス出来る形付けを確立させる。

現実を折り込み済みの既成事実として把握した上で、今出来る事を淡々とこなし、住民共々後悔しない対応、事前に自己を守る行動が必要です。 加藤寿夫

風邪の予防・体質改善に「東洋医学(漢方)」を!

風邪の治療は西洋医学的にはそれぞれの病名ごとに異なる治療法が確立されていますが、漢方治療は主には症状に対して処方を決めます。そのため病名が違って同じ漢方薬が処方されることもあり、漢方用語で異病同治といえます。また同じかぜでも症状の変化にあわせて処方を変えていくこともあり、同病異治といえます。体質や熱、痛みなどの全身状態と共に、咳や痰の性質や量の違いを注意深く観察し、その時の状態に応じて、それに適した処方を行います。

まずは、急性期・亜急性期・回復期の3期に分けて処方を考慮し対応します。さらに、漢方は「虚寒」[康寿診報 49 号 p1 参照]、「寒」の状態 逆に粘膜の充血・発赤などの「熱」の状態 すなわちその時々「寒熱」の程度などの物差しから、使用の判断をすることが大切です。

急性期(前期)

「主に発汗を促すことを目的とするもの」

麻黄湯 [TJ-27]・葛根湯 [TJ-1]・小青竜湯 [TJ-19] 等

「発汗を促すことを目的としないもの」

桂枝湯 [TJ-45]・香蘇散 [TJ-70]・真武湯 [TJ-30] 等

亜急性期(中期)

「急性期を経て 頭痛・悪寒・関節痛・食欲不振等が顕著な時」

急性期の発汗を促す処方の後で 柴胡剤(消炎・解熱効果)を用いる

柴胡桂枝湯 [TJ-10] 等

回復期(後期)

「咳・痰・熱・食欲不振等が長引き遷延する時」

麻黄附子細辛湯 [TJ-127]・竹筴温胆湯 [TJ-91]

予防期・体質改善・保持期

「体力を復調させ風邪をひかぬようにする」 補中益気湯 [TJ-41]

咳の特効薬として

「気道過敏性による咳の慢性化時」 麦門冬湯 [TJ-29]

「白色の痰が多い時」 清肺湯 [TJ-90]

それぞれの漢方薬の説明

麻黄湯 [TJ-27]

体力が一定以上あり 急性期の熱性疾患に抵抗を示す方に適応となる。

悪寒・発熱・頭痛・身体痛特に関節痛・筋肉痛を伴う熱性疾患の、特に急性期に、発汗を促す目的で用いる。胃腸がある程度丈夫なことが必要。

「インフルエンザの急性期症状(高熱・悪寒戦慄・関節痛・筋肉痛・頭痛等)」の緩和に第一選択。タミフル等のインフルエンザに対する特効薬との併用も可能。味はわずかに甘く渋い。

葛根湯 [TJ-1]

「肩から背中 項背部のこわばり」が証(使用目標)。体力は中程度～強めである程度の体力の伴っている方で、胃腸が虚弱でない方に用いる。麻黄湯に準ずるが関節痛はないか軽度。

は、インフルエンザの際 タミフル等の特効薬との併用でも使用される 主な漢方薬です。

[TJ-] の番号は、ツムラの製品番号です。

味は辛い。若者の風邪の初期に適応。

小青竜湯 [TJ-19]

花粉症「水様性鼻汁」に多用される名の知れた漢方薬。体力は中程度～強めで胃腸が虚弱でない方に用いる。味はわずかに酸味があり甘い。

桂枝湯 [TJ-45]

体力が十分でない中高年者・妊婦の風邪の初期に適応。味は辛くて甘い。

香蘇散 [TJ-70]

体力が極めて弱く胃腸も極めて虚弱な方で、不安・不眠・頭痛等の不定愁訴の症状を伴う初期の風邪の治癒過程を早めるのに用いる。うつ状態にも適応となる。小児や妊婦でも胃腸に優しく飲みやすい。味は甘くて辛い。「おいしい」といって服用できる。

真武湯 [TJ-30]

「新陳代謝の低下している状態」が証(使用目標)。体力・胃腸共に極めて虚弱な方で、手足が冷えて顔色不良、時に水様の下痢がみられたりめまいのある時に用いる。新陳代謝が衰え冷えが強く、消化機能も減退しているもの、身体が何となく「フワフワ」する「クラッ」とするなどのめまい感を訴える状況の時適応となる。味は辛目。急性期・亜急性期・回復期の三期にわたって、予防的に使用されたりする。高齢者の枯れた状態の高血圧などにも適応がある。

柴胡桂枝湯 [TJ-10]

熱性疾患の急性期を経て、交互に起こる悪寒と発熱それに伴い発汗・頭痛・身体痛・食欲不振・不眠等の症状がある時、体力は中程度の方に用いる。味はわずかに甘く渋い。

麻黄附子細辛湯 [TJ-127]

感冒で体力が低下し体が冷える状態。「高齢者・虚弱者の風邪で顔色悪くゾクゾクする寒気を伴う時」に適応となる。インフルエンザ、肺炎、気管支炎等の悪感・発熱の急性期症状の後、咳・鼻水等が長引いた時症状の改善が十分でないときに使用する。体力が弱く、四肢に冷感のある人、虚症で低血圧の方に適応となる。高血圧、のぼせる傾向の人には禁忌。ただし、胃腸が虚弱でないこと。味はわずかな甘味と辛味。

竹筴温胆湯 [TJ-91]

回復期等に微熱や咳が長引き気分が晴れず咳と痰で安眠ができない時、体力は中程度の方に用いる。味は渋味。

補中益気湯 [TJ-41]

「食後 吸い込まれるような眠気に悩まされる人」が証(使用目標)、このような疲れがある時に適応となる。感染予防として、体力保持・免疫力強化として平時にも用いられる。風邪の諸症状がみられなくなってお易疲労感・倦怠感・食欲不振・微熱が残るような時に用いる。体力が弱く胃腸が虚弱な方でも適応となる。味はわずかに甘い。

麦門冬湯 [TJ-29]

発作性の咳嗽・顔面紅潮に使用する。粘稠で痰の切れにくい激しい咳、喉の乾燥感、咳の頻発による顔面紅潮時、体力は中程度の方に用いる。急性期・亜急性期・回復期の三期にわたり症状の改善に使用される。味は甘い。

咳止め薬の最強の組み合わせとして「リン酸コデイン」と併用して用いることがある。

清肺湯 [TJ-90]

主に慢性的な膿性の痰が多量に出る咳に用いる。体力は弱く胃腸が虚弱でない方でも適応となる。急性期・亜急性期・回復期の三期にわたり症状の改善に使用される。味は甘味と苦味。

「風邪の予防・体質改善に『東洋医学(漢方)』を！」は 磯はいやく吉田薬局前薬局長 諏訪泰氏による編集です。

《勉強会のご案内》 1/16 は 1/23 に変更 《診療案内》

通常の勉強会は原則第 3 土曜日 13:00 から開催です。インフルエンザ流行の状況により、勉強会は中止とすることがあります。ビデオ・DVD 学習をお勧めします。

1月23日(土)	糖尿病とは
2月13日(土)	薬物療法について
3月13日(土)	低血糖について
4月17日(土)	第 80 回 睦会
5月15日(土)	運動療法について
6月12日(土)	インリ療法について

診療時間	月	火	水	木	金	土
8時～12時						
15時～18時						

「朝の挨拶」の為 一般診療開始は 8:15 からです。
 午後の受付は 初診は 17:30 まで 再診は 17:45 までです。
 休診日:日曜・祝日 木・土曜の午後 月末最終日の午後

受付最終時間 厳守 とさせていただきます。

ビデオ・DVD 学習は、個人の希望にも随時応じております。希望される方は、職員まで申し付け下さい。
 次回「第 80 回睦会」は、“糖尿病治療の ABC を求めて”をテーマに、本院の糖尿病治療の実際そしてメタボ健診を成熟させる為には何が必要か、皆さんと考えてみたいと思います。吉田町図書館にて開催予定です。
 杉山晴子管理栄養士による「加藤さん家の食卓実習」調理実習を 1/16(土)・2/13(土) 9:30～12:00 実施します。食材費 500 円のみで プロのテクニックを自分の食卓へ応用して下さい。詳しくは栄養士杉山へ。

新年となりました。例年冬のインフルエンザワクチン・[弱毒性(豚)]新型インフルエンザワクチンの接種を済ましていない方、早急な接種をお勧めします。

小児から高校生までの接種については、本院に電話連絡の上、2:30～3:00PM までに来院されれば、可能な限り 当日か数日の内に接種させていただきます。

《毎年冬のインフルエンザワクチン 予防接種のお知らせ》

例年冬のインフルエンザワクチンの予防接種実施中です。

小学生まで(12歳以下)の子供さんは 原則 2 回接種です。

通院中・紹介の(加算のある)方は ¥2,500、二回目は ¥2,000 です。

65歳以上の方は、町・市の補助があり、助成の対象となりましたが、本年度の助成の受付は終了しております。



《弱毒性(豚)新型インフルエンザワクチン 予防接種のお知らせ》

政府の決めた接種順番により、予約にて接種実施中です。

小学生まで(12歳以下)の子供さんは 原則 2 回接種です。

65歳以上の方においても、榛南地区の地方自治、吉田町においても補助はありません。全額自己負担です。

すべての医療機関が同一料金 一回目¥3,600、二回目¥2,550 です。

行政の勝手により、ワクチン不足・入手困難等により迷惑をおかけしております。医療機関の我々も手間取っている状況です、本院として、可能な限り不備の無いように心掛けます。



《肺炎球菌ワクチン予防接種のお知らせ》

吉田町では独自の助成があり 70 歳以上の方は 全国唯一 接種代金 ¥8,282 の全額町の負担。12/28 まで、個人負担無し(無料)で行なわれておりましたが、本年度の助成の受付は終了しております。 他の市・町の一般の方は ¥8,000 にて実施中です。

《臨時休診のお知らせ》

お薬を切らさないようにお気をつけ下さい。

1/12(火), 2/15(月), 3/8(月)・23(火), 4/5(月)・30(金), 5/1(土)は 休診です。

1/24(日)は当番医にて 9:00～17:00 急患のみ受け付けます。
 臨時休診は数ヶ月前にお知らせします。確認の上で 受診をお願いします。

当分の期間、弱毒性(豚)新型インフルエンザワクチンの予約接種の為、
 救急を有する方以外の 午後の一般外来は 15:30 頃からの 開始となります。